



本年もよろしくお願ひ申し上げます

(呉港)

断酒 みどりの友

発行所 呉みどり断酒会
事務局
呉市押込 5-12-25
渡部 憲方
郵便番号 737-0915
電話 33-5571
発行人 渡部 憲
編集代表 井藤 宏道
印刷 松広印刷



「出続けよう！」

会長 渡部 憲

皆様、新年明けましておめでとう
ございます。

異変尽しの天象、気象のもと、
私達会員、家族にとつて、平凡で
もいから笑つて過ごせる一年で
あることを祈つて新年を迎えまし
た。

“平凡”と申しましたが、かつ
て飲酒時代、この二文字を求めて
どれだけ苦しみ、今思えば無駄な
挑戦を続けてきたことか。

毎朝が、決意であった。(よし、
今朝は仕方ない。明日の朝から絶
対に迎え酒は止めよう！)

半分ほど飲んだ缶ビールの残り
がノドを通らない。ブワアーツ
と一気に戻す。涙も鼻水も一緒に
出る。周囲に人がいない事を確認
して、残りの缶を空地に投げ捨て
ながら、(よし、これで止めるぞ)
決心がついたような気がした。
しかし、その翌朝、やっぱり同じ

場所に私は立っていた。

(なんで、他の人達のように夜ま
で待てないんだろう……。せめて、
朝酒と、勤務中の飲酒だけでも止
めることが何故できんのだろう。)
情けなくて、そんな自分が嫌で、
涙が出る朝のくり返しが、五年も
六年の間、たったの一日も欠か
すことなく続いた。

断酒会に救っていたら、私
と同じように毎朝泣きながら飲ん
だ人と何人もめぐり合う事ができ
た。自分一人じゃなかった。ホッ
とした。そして、(この人達の中
にいれば、きっと自分もやがては
泣かなくてもいい、“人並み”の
すがすがしい朝を迎える事ができ
るだろう……。そう信じて今日
まで皆様について歩いたことに間
違いはなかった。還暦を迎えた私
と妻の今年の誓いは、『出続けよ
う！』である。

呉みどりヶ丘病院創立

37周年記念特別例会

体験発表



西村好登
(本人)

夜中の3時頃でした。『免許証を見せてみる!』その免許それきりでした。免許一発取り消し昭和51年頃かと、はっきりは覚えてはいません。覚えているのは、幼い子供とまだ、すれていない女房がいたことです。

皆さん、こんにちは、本日は呉みどりヶ丘病院創立37周年記念、誠に、おめでとございます。又私の体験を語る時間を頂きましてありがとうございます。

私が30才ちよつと前に飲酒運転で一步間違えると大惨事となる事故を起こしました。その時ビアガーデンで会った他の社長と飲み、私が運転して帰る途中の事故でした。『逃げるぞ!』『すぐタクシーを止める!』気が動転していた私はすぐ車外に出て一台の車が来たので手を上げました。パトカーでした。『何をやっているんだ!』『お前すごく酒くさいぞ!』

16才で運転免許証を取ってから、そして定時制高校に行きながら昼間の仕事の先輩に酒をおごつて貰ってから酒を覚え、飲酒運転は日常茶飯事で飲酒運転での事故は一度もありませんでした。それは車好きの、私にとつてシヨックでした。それからはバス通勤がはじまり仕事も手につかないようになり仕事中の飲酒がひどくなり、又帰りのバス停の前の酒屋で私の好きな、にがり酒を二杯引つ掛けて又帰って飲む、そんな日が続くようになってから、仕事は休む仕

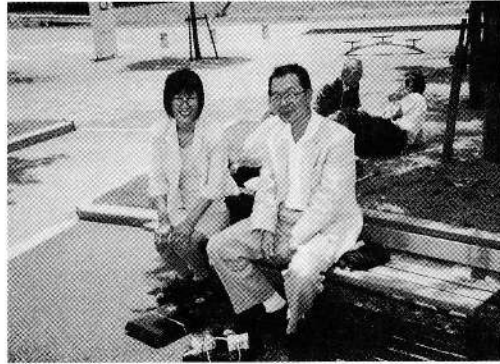
事に出ても簡単な仕事も、はかどらなくなるようになり、これでは、いけん、よし、今日から酒を切ろうと決心しました。やせがまんの禁酒をはじめ、すぐに幻覚が出ました。それも意味がわからなくて、ちよつと変だと思っていました。家内にその事を黙っていました。家内は様子がおかしいと思っていたようです。私の一番下の弟を呼んで来て弟が『何かストレスがたまっているのなら、何でも好きな様に、しんさいや!自分がなんと



かしてやるから』とまだ独身だった弟の優しい言葉に、たまりにたまった頭の中の混乱が爆発して、どうも家がメチャクチャになるくらい暴れた記憶があります。今考えると包丁を持った男が黙って向かって来たり、空にはミサイルが飛んで来たりで、もう私は大変でした。家内も弟も完全に頭が狂ったと思ったでしょう。後にふだんの生活にもどった時、弟がひと言、『兄さん!わしがあんなになったら生きとらんよ!』その言葉はシヨックでした。又話が戻ります。

幻覚が出て大暴れして記憶がなくなり、気がつくとおふくろの家に寝かされていました。今考えると、なか々その幻覚が訳のわからんで頭が直らず、あちこちの病院につれ回されて『うちには、どうにもならん!』と断られていた様子を思い出します。しばらくして頭もすっきりして、おふくろの家で養生をしていました。また、『酒』が頭をよぎるようになり、『酒を飲ませてくれ!』と言うと『ちよつと待って』『ハイ』とコップを手渡されて飲んだら水でした。『こんなもん飲めんじや

る〜庭に投げました。しばらくして『あなた』『何じゃ!』『あなたにとつていいところあるんよ行こうか?』『どおせ精神病院じゃろう行く訳がないじゃろ〜』話の



やりとりで根負けして、来た所が普通の病院と思いました。病棟に入る時、『時計はずしてポケットの中の物は出して』なんで?入ると「ガシャン」窓に鉄ごうしがついていました。しばらくして二病棟におりた時、面会の人が出来たというので、すぐ家内だと思いましたが、すると、おふくろの近所の魚屋の人で、がっかりしました。『私は断酒会の者じゃけ〜まあ三カ月

勉強したら出れるけん』と言ってくれました。

昭和52年当時の呉みどりヶ丘病院は規則・規律、ひとつ、ひとつがきびしくて特に一病棟の板張りの座禅、剣道の素振りの時間は忘れることはできません。精神をきたえて貰いました。今思えば良い思い出、院内作業もはんばではなく、なんでもかんでも、きびしく当時ここにいる事を考えればなんでも、できるわいと思っていました。

そして退院、三ヶ月、性根がはいりませんでした。退院してみたらこわれたアパートではなくて一軒家の借家になっていました。仕事も行かず、女房は働きに行き、子供はおふくろの家に、私は女房に一日五百円を買って、その中から、たばこ、缶ビールを買って飲んでいました。すると又おふくろが来て『行こうや〜』再度、呉みどりヶ丘病院に行き、問診で院長先生に『どうした。』と聞かれた時、まだ酒専門の病院とボケた頭では理解できず、あさつての方の返事をして、よく覚えていませんがボールペンとメモ帳と下着、ジャージで、いつ出れるか、わか

らん不安のなかで回りを見ると状態の悪い人の中で、ここにいると気が狂ってしまうと思っていました。いつまで待っても女房は面会に来んし、たまにおふくろが来ると私の顔見て『もうちよつとおれ!』と泣くに泣かれんかったことを思い出します。そして何も考えなくなり三病棟になれてきた頃二病棟におろしてもらいました。毎朝の朝礼、ラジオ体操にグラウンドに出る時、途中の扉の南京錠が外れていたもので、全閉鎖病院をうしろ向き家まで走って帰りました。

朝早かったので家の玄関が開まっていて窓をたたくと『どうしたん?』『逃げてきたんじゃあ』『もうあなたの面倒はみれんよ!』こちらでモタモタしたらいいけんと思つて、おふくろの家まで走って帰りました。しばらくは、おふくろの監視の中で生活していましたが、突然又車が乗りたくなつて『働く』とおふくろに言つて、昔の友人を通して又一番最初の会社に戻らせて頂きました。

最初は仕事を覚えるのが必死で

仕事中心で家での酒は飲むひまがなく、最初の一年は完全禁酒やつて、おふくろにいいかげんビールくらい飲んでえかろうと言つて飲むようになりました。アルコール依存の恐ろしさも知らない私達でした。徐々に身体と頭がむしばまれていきましたが、お陰で子供が幼稚園から結婚式をあげるまで約二十年間同じ会社、勤めることができました。めでたし、めでたしと思つた時から気が抜けたのか、一番働き盛りやつと一人前になつてから、身がもう酒の魔力に勝てないようになり、暴言、暴力、病院のはしごなど、もう、はしにも棒にもかからなくなつてから

平成9年又再入院第一回目みどり号の車で入院となり、当病院に入れられたと女房に逆恨み、女房や看護職員さん達に出刃包丁とさしみ包丁で入院を阻止したり、酒が切れると暴れる。女房を暴力で痛めて来た私です。女房の小春に感謝しながら私の断酒に協力して頂けるようお願いして、私の体験を終わらせて頂きます。

第三十七回

山陰断酒学校

暑さ厳しい八月二十四日～八月二十六日、松江市玉湯公民館で、第三十七回山陰断酒学校が開校された。当会からは十四名が参加（正会員十二名、家族会員二名）その内、初入校者は三名でした。各自、車に分乗し早朝より出発、所要時間約四時間の行程を途中、携帯電話で連絡を取り合いながら無事到着、より強くより豊かな断酒人を目指すべく入校した。三日間の日程の内、当会からの体験発表者は七名、緊張感と充実感の中終ってからは皆、笑顔、二十六日昼に全日程を終了した。

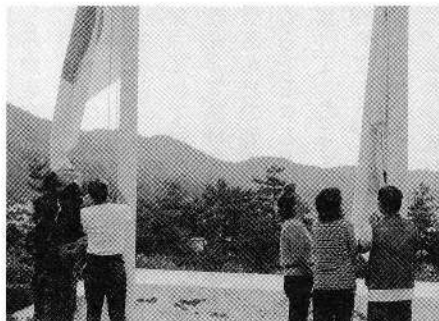


平成19年9月22日(土)～24日(月) 江田島市国立青少年交流の家 第37回広島県断酒会連合会研修会

残暑厳しい九月二十二日～二十四日の三日間、第三十七回広島県断酒連合会研修会が、江田島市国立青少年交流の家で開催された。総参加者は二百三十七名で、当会からは十九名が参加（正会員十五名、家族会員四名）曾根、上門、新谷の三名が初参加でした。

今年の残暑は格別で連日三十度を越す猛暑の中、必死で体験発表する人、それを必死で聞いている人、同じ苦しみ、大同小異の体験の持主が、寝食を共にして語り合う大切さを、今回の研修会でも、痛感させられた。

初日、二日目の研修会が終わっても、あちらこちらで談笑の輪が、お互いに、理解してもらえ喜び、話しを聞いてもらえ喜び、話しを聞かせてもらえ喜び、いろいろな喜びを感じながら、三日間の全日程を終えた。



朝の集い



猛暑のなかの研修会場

県連研修会に 参加して



新谷美恵
(アメリスト)

私は今年六月二日に呉みどり会に入会して、初めて断酒会員として参加しました。過去2回、私は入院中に療養生として参加した時には色々な不安や戸惑いの中で、感動や感激よりも淋しさを感じてしまい自分の居場所を見付ける事が出来ずにいました。

今回私は人として、人との出会いの中で自分が何の為に断酒したいのかを思い知る機会になったと思っております。私は今まで酒をやめるのは当たり前だと思ってもやめるための努力を惜しんで後まわしにしてきました。自分自身が手さぐりで空回りしてきたものがどんなものだったのかという事をこの研修会の中で気付かせて頂きました。

私は今、とにかく心から酒を断ち切りたい。だから、例会を大切に。その事を気付かせて頂きました。ありがとうございます。

呉みどりヶ丘病院

創立37周年記念

第435回特別院内断酒例会

平成19年10月14日(日)に初秋を感じる中、創立37周年を迎えられ、大勢の参加者で記念大会が催されました。



記念講演

体験発表者は療養生1名、正会員2名、家族会員1名で当会からは、西村好登氏が発表しました。その後院長先生の記念講演に盛り上がり、いつまでも長尾澄雄院長先生が、益々御健勝御活躍を祈念し当院の御発展をお祈りし終了した。

第44回全国(宮城)大会 ひらけ！東北

『広げよう断酒の輪、分かち合おう仲間の体験』をテーマに、10月21日、仙台市体育館に於いて、総勢二千六百余名が集まり、第44回全国(宮城)大会が開催された。

平年より遅い紅葉前線とはいえ、仙台市内の街路樹は色づき始め、秋晴れの中、会場周辺には次々と仲間が集まり、再会を喜び合う光景に溢れていた。また、一步会場内に足を踏み入れると、そこには全国の仲間の祈り、願いを吊るした「仙台七夕」がひと際目を引いた。

当会の参加者も、現地集合のため、「わしらは昨日飛行機で着いた」「私達は、もうあちこち観光して来たんだよ」などと話しながら会場前で記念写真を撮った。

大会実行委員長の、途中突然のご逝去という不幸を乗り越えて、故鈴木氏の奥様が遺影を抱いての歓迎の挨拶に胸が痛み、同時に苦境にめげず立派に開会を迎えられた東北断酒連合会のみなさんに敬

服しないではいられなかった。



第44回全国(宮城)大会での滋賀大会アピール

娘の立場で、幼な子を抱いての北海道の木村さんの体験談に涙する人も多かった。

「来年は滋賀じゃけん、今度はバスを貸し切って、多人数行かにはやあいけんのお」「そうじゃのお。じゃあ、水曜例会でまた」などど早くも来年の滋賀大会に夢を馳せながら会場をあとにした。

第四十二回酒なし忘年感謝会

呉みどり断酒会創立四十周年記念大会も無事終了し「例会出席」「二日断酒」の八文字の重要性を感じながら平成十九年も残りわずか、恒例の酒なし忘年感謝会が、

十二月十二日、シティプラザ・スギヤで、呉みどりヶ丘病院院長、長尾澄雄先生をはじめ来賓、朋友の出席を得て開催された。普段、お目にかかれない芸達者な人、それなりの人、いろいろで楽しい時間を過した。そして、来年は「出続けよう」を合い言葉に頑張ろうと、誓いあった。



大トリは女性全員で大合唱

臨時総会

十月二十四日、水曜例会終了後『役員定年制の廃止』について、臨時総会が開催され、満場一致で可決された。その後、会長より、組織強化に伴う新役員の体制が発表された。

- 常任相談役 田中正直
 相談役 宗政 貢
 相談役(監事) 宮野 積
 相談役(会計) 大下忠志
 会長 渡部 憲
 理事(事務局、行事) 西村好登
 理事(進行) 石橋 剛
 理事 曾根敏浩
 理事 笹尾靖子
 理事(編集) 井藤宏道

第十七回中国ブロック 断酒セミナー『活動宣言』より

☆五年く十年と断酒継続を継続している者は入会当時に先輩からしてもらった事を思い出し、新しい人と同じ目線で十分な気配りをもって対応する。

今回のセミナーでは、他に三項目の宣言を採択した。

寄付者御芳名

- (八月度)
 呉みどりヶ丘病院 六〇,〇〇〇円
 院長 長尾澄雄様
 呉 大下忠志様 一〇,〇〇〇円
 藤田数夫様 一〇,〇〇〇円
 感謝箱 三,二二三円
 (九月度)
 呉 山本一義様 一〇,〇〇〇円
 感謝箱 三,二〇六円
 (十月度)
 感謝箱 二,八三八円

新入会員紹介

◎呉市警固屋七ー二二ー四三

渡辺 敏文

断酒継続おめでとう

- ☆一年 加藤 勝美 10月14日
 ☆二年 佐伯 忠 8月3日
 ☆二年 藤田 数夫 8月20日
 ☆二年 西村 正俊 9月7日
 ☆三年 野田 吉丸 10月30日
 ☆四年 中司 仁博 10月25日

行事予定

- 平成20年新年合同初例会
 1月3日 呉みどりヶ丘病院
 ○第31回愛媛県断酒会
 東予ワンナイト・セミナー
 1月19〜20日 石鎚神社会館
 ○呉みどり断酒会
 創立41周年記念例会
 2月9日 呉みどりヶ丘病院

8月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	77-77	合計
土曜例会	4	132	50	14	65	282	43	586
水曜例会	5	168	58		4			230
新会員の集い	1	12	2					14
ブロック例会	1	22	9					31
家族の集い	1		8					8
懇談会	1	2						2
特別院内例会	1	20	3					23
第37回山陰断酒学校	1	12	2					14
県連理事研修	1	5						5
役員会	1	6						6
合 計	17	379	132	14	69	282	43	919

10月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	77-77	合計
土曜例会	4	137	45	16	177	280	39	694
水曜例会	5	165	58		2			225
新会員の集い	1	12						12
ブロック例会	1	19	8					27
家族の集い	1		8					8
懇談会	1	2						2
創立37周年記念・特院	1	26	9					35
第44回全国(宮城)大会	1	3	2					5
第17回中国ブロック断酒セミナー	1	4	1					5
県連常任理事会	1	1						1
役員会	1	6						6
合 計	18	375	131	16	179	280	39	1,020

9月例会動員数

行 事 名	回	正会員	家族会員	賛助会員	他会員	院内会員	77-77	合計
土曜例会	5	175	64	15	90	318	40	702
水曜例会	4	133	43		3			179
新会員の集い	1	13	1					14
ブロック例会	1	21	5					26
家族の集い	1		12					12
懇談会	1	2						2
特別院内例会	1	16	5					21
第37回県連研修会	1	15	4					19
県連理事研修	1	6						6
役員会	1	7						7
合 計	17	388	134	15	93	318	40	988